



第4号住居跡出土縄文土器



『春日部市庄和町史編さん資料(十四) 原始・古代資料—考古—』より転載(一部改編)

第10回遺跡見学会資料  
平成24年3月3日

# あさまたいせき 浅間下遺跡 第4次調査

春日部市浅間下遺跡は、市域北部の宝珠花台地ほうじゅばなだいちの上にある遺跡です。これまでの調査で、縄文時代早期から後期の遺構や遺物が発見されています。

現在、江戸川ていぼうきょうかたいさくしぎょうの堤防強化対策事業に伴い、記録保存のための発掘調査を実施しています。今回の第4次調査では、せまい面積にもかかわらず、縄文時代中期たてあなじゅうきよあと（今から約4,500年前）の竪穴住居跡や土壌が20基ほど発見され、栄えていたムラであったことがわかりました。かつて、この地に生きていた人々の暮らしを想像し、彼らが作った縄文土器の豊かな造形を楽しんでいただけたら幸いです。

主催：財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団  
共催：埼玉県教育委員会・春日部市教育委員会  
後援：国土交通省関東地方整備局 江戸川河川事務所

たてあなじゆうきよあと  
**竪穴住居跡**

地面を掘りくぼめて床をつくり、上屋をかけた住まいの跡です。柱穴や、火をたいた炉（いろり）の跡がみられます。



第1号住居跡



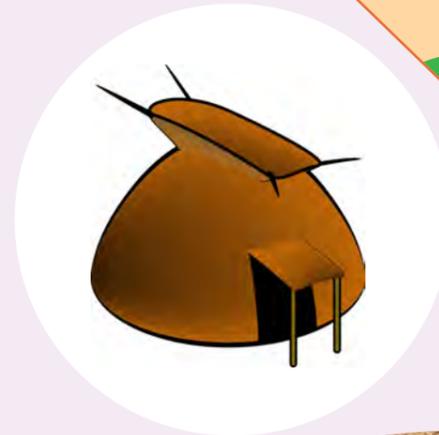
第4号住居跡

ろたいどき  
**炉体土器**

炉体土器とは、口の部分や底が欠けた土器を、炉にすえたものです。今の「ごとく」と同じ役割をしたものと考えられます。



第2号住居跡の炉体土器



屋外炉として使われていた土器

浅間下遺跡  
 第4次調査  
 全体図